

留学報告書



留学先国	アメリカ
留学先高等教育機関名	フロリダ州立大学・ディズニーワールド提携インターンシップ
留学期間	2019年8月～2020年1月
留学を開始した時の学年	2年生

留学費用（概算）

授業料（プログラム費用）	約51万円
保険料	約8万円
宿舍費（1か月あたり）	約4万5千円(1週間ごとに支払い)
食費（1か月あたり）	約3万～4万円
渡航旅費	約26万円

滞在形態関連

1) 種類
寮。
2) 部屋の形態
相部屋（6人（2人ベツトルーム×3））。
3) 設備
シャワー，お風呂（浴槽），トイレ，エアコン，キッチン，ランドリー，インターネット，

Studying Room, 宅配ボックス, リビング家具 (ダイニングテーブル, テーブル, 椅子, ソファ, 棚, ミニテーブル), 洗濯機・乾燥機 (各棟に設置), 冷蔵庫, 宅配便 (寮内のサービスセンターでの受け取り), 貴重品ロッカー

4) 住居を探した方法

留学先大学の指定。

現地情報

1) 大学内の医務室／診療所や付属の病院などで医療サービスを受けることは可能でしたか？

はい。

2) 現地で病院にかかったことはありますか？

いいえ。

3) 保険について、現地の医療保険に加入しましたか？

はい。

4) 留学にあたり、必須の予防接種はありましたか？

はい。大学側から指定されたものがありました。
最終的には自己判断、自己決定という形でした。

5) 学内外で問題が発生したときは、誰に相談しましたか？

留学先の友人、日本にいる友人や家族、大学の先生、職場のコーディネーター、リーダー、寮内のサービスセンター。

6) 現地の治安はどうでしたか？また、現地の危険地域情報をどのように収集し、どのような防犯対策をしましたか？また、実際に窃盗等を含む犯罪に巻き込まれた場合、どのように対処しましたか？

私が住んでいた寮周辺は、ディズニーリゾート周辺のリゾート地ということもあり、比較的治安はよかったです。また、寮のセキュリティが厳重なため、留学期間に特別危険を感じるようなことはありませんでした。

ただ、海外で生活する上での最低限の危機管理は常に心がけていました。

7) パソコン、携帯電話、インターネット接続について、現地での利用はいかがでしたか？

私は、日本でアメリカのSIMカードを購入し、現地で設定し、利用していました。移動時間や仕事の休憩時間など携帯電話を使うため、容量無制限で利用できるものを使っていました。

寮のインターネット環境はとても安定していました。ディズニーのパーク内など、フリーのWi-Fiが設置されているところではWi-Fiを利用していました。また、寮内には無料で使う

<p>ことが出来るパソコンルームもあるため、そこを利用することもできました。</p>
<p>8) 現地での資金調達はどのように行いましたか？</p>
<p>ディズニーワールドから給料が振り込まれる期間までの生活費として、日本から約 5 万円ほど現金を持参しました。その後は、ディズニー側から支給されたデビットカードを使って全てまかかっていました。このカードに 1 週間ごとに給料が振り込まれるという形でした。親からの送金などはなく生活することができました。</p>
<p>9) 利便性、買い物はどうでしたか？また現地では調達できない日本から持っていくべき物がありますか？</p>
<p>交通手段は基本的に寮内から発着する専用バスを利用していたため、交通費はかかりませんでした。しかし行き先によっては、本数が少ないものや循環バスであるため、極端に時間がかかるものなどもありました。</p> <p>買い物は寮のバスを使って大型スーパーに行くことができました。食料品だけではなく、生活に必要なものをほぼ全て揃えることができました。また、私が住んでいた寮の周辺には、ファストフード店、レストラン、薬局、1 ドルショップ（日本のダイソーのような店）が徒歩圏内にあったため、ちょっとした買い物などは寮周辺で済ますことができ、とても便利でした。</p>
<p>10) 授業料（またはプログラム費用）は、どのように支払いましたか？</p>
<p>クレジットカード</p>
<p>11) その他、生活等に関して参考となることがあれば教えてください。</p>
<p>フロリダは気候がとても気まぐれなため、夏服だけでなく、長袖、ジャケット、ヒートテックなどを持参する、もしくは現地で調達するのがよいと思います。また、万が一体調を崩した時のために、普段飲み慣れている薬、体温計などを日本から持参するとよいと思います。</p>

渡航について

<p>1) 現地空港から滞在先まで、どのようにして向かいましたか？</p>
<p>留学先大学のピックアップサービス。</p>
<p>2) 到着後にオリエンテーションはありましたか？あった場合、どれくらいの期間行われていましたか？</p>
<p>はい。フロリダ州立大学で過ごした 10 日間の期間にほぼ毎日行われていました。ディズニーでのオリエンテーションは研修期間に行われました。</p>

学習・研究活動についてのレポート（履修した科目ごとに記入してください）**履修した授業科目名**

Intercultural Communication

授業内容や試験，授業を受けた感想について

大学滞在中に受けた授業です。アメリカの文化や考え方，日本との違いについて学びました。またグループごとのプレゼンテーションも行いました。

履修した授業科目名

Applied Intercultural Communication

授業内容や試験，授業を受けた感想について

一つ目の授業を受けて，ディズニーで働きながら，月一回授業を受け，レポートを提出するという形でした。

授業はリラックスして受けられるもので，主に講義を聞きグループディスカッションを行うというものでした。

履修した授業科目名

Intercultural Communication Practicum

授業内容や試験，授業を受けた感想について

ディズニーでのインターンシップのことです。

職場で英語を使い，日本との違いを目で見て感じることで毎日学べるが多かったです。

履修した授業科目名
Corporate Social Responsibility
授業内容や試験、授業を受けた感想について
毎月一回の授業でアメリカの文化をまなび、それを受けて、オンラインの文献を参考としながら、自分が職場で感じたことをもとにエッセイを書きます。 経験を元を書くものなのでとても取り組みやすいです。

留学体験記

<p>留学しようと決めた理由や、この留学先を選んだ理由</p>	<p>私はただ大学に通うような留学ではなく、実際に現場に出て英語を道具として使うことのできるインターンシップに参加したいと考えていました。私自身、ディズニーがとても好きだったため、このプログラムに興味を持ちましたが、それだけではなく、このインターンシップには、日本からだけではなく世界中からの参加者がいると聞き、多文化共生について学びたいと思っていた私にはとても魅力的なものでした。</p> <p>以上の理由からこのプログラムに参加することを決めました。</p>
<p>留学のためにした準備、しておけば良かったと思う準備</p>	<p>国際日本学部に入學直後からこのプログラムに応募することを決めていたので、1年次から、応募資格などを調べることなどの情報収集、TOEFLの勉強、日頃からGPAを意識しての授業参加などを心がけていました。また、面接前にはウォルトディズニーワールドについての知識を集めることをしていました。</p> <p>参加決定後にこれといった特別な準備はしていませんでしたが、提出すべき書類などの作成方法を調べることはしていました。</p> <p>実際に仕事が始まってから、初期の研修期間に多くの書類を読んだり、短時間で多くの情報を覚えたり、英語になれる前の段階で苦労もありました。そのため、難しいとは思いますが、出発前からできるだけ意識をして英語に慣れておくこと、英語を話す機会を作ることができると思つち的にも余裕ができると思います。また、ディズニーキャストとして働く上で、ディズニーのある程度の知識は必要だと思つちいます。そのため、ディズニー映画や音楽などに触れておくことも重要かと思つちいます。</p>
<p>留学中に役立った書籍、ウェブサイト、アプリ等</p>	<p>留学前にディズニーのインターンシップの公式ウェブサイトから情報を得ることはできますが基本的に情報量が少ないため、Instagramのハッシュタグ検索などを使っていました。プログラム開始直前には、ディズニー側から動画などが提供されましたが、それ以前は正直情報収集はとても難しいと思つちっていました。そのため私は、前年度参加者の先輩方から直接話を聞くことが手取り早く、一番よい方法かなと思つちいます。</p> <p>留学中、役立ったアプリはFacebookです。同僚とのシフト交換やギブアウェイをしたい場合、各職場のグループがFacebookにあったため、その中で呼びかけたり、反対に追加で働きたい場合に他の人からシフトをもらうことも可能でした。基本的に</p>

	<p>Facebook と messenger を使って行われたので、日本ではあまり主流ではないと思いますが、アカウントを作成しておくことをお勧めします。</p>
<p>大学・学生の雰囲気 (職場や同僚の雰囲気)</p>	<p>私は幸運にもとてもよい職場に恵まれました。私が日本からきたこと、文化が異なる事、英語に対して不安があることなどを理解してくれる人が多く、とても働きやすく、何か問題に直面した際にも手を差し伸べてくれる人や相談できる人の多い職場でした。アメリカのカレッジからのインターン生や私たちと同じような海外から来たインターン生とはシフトがかぶることが多く、休日に遊んだり、寮まで車で送ってくれるなどとても良い関係を作ることができました。また、歳が比較的近いコーディネーターは相談をしやすい、職場の雰囲気を考えてくれている人が多かった印象です。長時間のシフトをもらうことが多く、1日の半分以上を職場で過ごしていたことが多かったため、同僚と打ち解けることに時間はかからず、別れがとても辛いものとなるくらい、私のプログラムになくてはならない存在となりました。</p>
<p>滞在先の雰囲気</p>	<p>私が住んでいた寮は緑も多く、セキュリティも厳重で、寮周辺も便利なものが多く、とても住みやすかったです。部屋自体は必要最低限のものは揃っており、不具合があると修復してくれるなど満足できる点が多かったです。交通面では、ディズニーの関連施設には基本的にバスで行くことができたため安心でした。特に私は仕事場まで30分もかからず行くことができたためとても便利でした。寮内には、同じ日本人も住んでいるため、一緒に出勤帰宅をしたり、パーティーを開いたり、困ったときに助け合ったりととても心強く感じていました。</p>
<p>留学先における交友関係</p>	<p>このプログラムを通して、同じ明治からの参加者の友達はもちろん、ルームメイト、同僚など様々なところで新しい友達に出会うことができました。</p> <p>1日のほとんどを一緒に過ごす同僚とは、仕事を助け合ったり、趣味の話で盛り上がったり、お互いの文化を教えあったり、休日に出かけ遊んだり、ご飯を食べに行ったり、仕事後に寮まで送ってくれたり、プログラムを通して出会えたことに感謝したい人がたくさんできました。</p> <p>また同じ日本人の存在はとても重要でした。同僚に話せないことや、辛いこと、問題を共有しあったりと、休日にパークに行き時</p>

	<p>間を過ごすだけで心の支えになった人が多くいました。私の場合、友達と同じベッドルームで生活していたため、一緒に自炊したり、仕事後深夜遅くまで二人で話をしたりとストレスを解消することもできました。</p>
<p>留学中に困ったこと、つらかったこと、大変だったこと</p>	<p>プログラム中に困ったことは理不尽なゲストへの対応や慣れない状況への対応です。アトラクションの緊急停止などが起こると、落ち着かなければいけないとわかっているにもかかわらず、英語で相手に伝えることに焦りを感じたりと、苦労し自分にもどかしさを感じることも多くありました。また、食事に対する文句やクレーム、返金対応など理不尽な要求に英語で対応することに苦労することも多くありました。</p> <p>辛かったことは、頻繁に起こるわけではありませんが、時々差別的なゲストに出会うことです。英語が喋れないと決めつけられたり、すぐにリーダーを呼べと言われたりと、心が痛むことも当然ありました。</p> <p>また、私のシフトはいつも締めシフトであり、長時間のものが多かったため、帰宅時間が遅いことも多く、生活リズムが安定しないことも大変だったことのひとつのように思います。</p>
<p>留学先における学習、課題や試験</p>	<p>主に一ヶ月に一回行われる授業に基づいたエッセイやディスカッションの提出がありました。私は、短いシフトの前や帰宅後など休日ではなく、仕事がある日のスキマ時間を利用して終わらせていました。比較的自分の経験や考えを書くものが多く、とても取り組みやすいという印象でした。</p> <p>授業は、同じ大学のカナダ人、中国人、韓国人、メキシコ人と一緒に受け、ディスカッションをするものだったため、国際的な雰囲気の中、落ち着いて受けることができました。特に課題以外の学習をする時間はありませんでした。</p>
<p>大学外の活動（課外活動や自由時間など）</p>	<p>主に休日は週2日で、パークに無料で遊びに行くことができたため、友達と遊びに行ったり、一人で写真を取りに行ったりして過ごすことが多かったです。ウォルトディズニーワールドは旅行では遊びきれないと聞いていたので、周辺ホテルに朝ごはんを食べに行ったり、キャラクターにあたり、出勤前にアトラクションに乗ったりウォルトディズニーワールドを遊び尽くしていました。</p> <p>ディズニーのパーク以外にはアウトレットや映画に行ったり、部屋でお菓子作りをしたりすることもありました。</p>

	<p>また、休みの申請をしたり同僚と交換したりすることでアメリカ国内へ旅行や小旅行に行くことができました。私はニューヨークとマイアミに行きましたが、私が生活していたフロリダオーランドが田舎だということもあったため、同じアメリカでも違う景色を見ることができ、とても良い気分転換になりました。プログラム期間に行くことで、同僚からオススメの場所を聞いたりすることもできる点も利点かなと思います。</p>
<p>留学を志す人へメッセージやアドバイス</p>	<p>異国の地で働き、生活するということはもちろん辛いこともたくさん経験するということであり、自分の物足りなさに気づくこともたくさんあります。ただそれ以上に、自分の自信にもなると思います。また日本を離れることで、日本の良い点や悪い点を知ることがもできます。</p> <p>私はこの留学を通して自立し、自分の英語力を向上させることもでき、仕事を通しての新しい人との出会いを得たことで、成長することができましたが、留学に参加すれば、海外に行けば、成長できるというわけではないと考えています。新しい地で何をし、どう考えて動くのかは全て自分で考えなければならないと思います。6ヶ月という短い時間をどう有意義に過ごすことができるのか常に頭の片隅に置いておくことが重要です。そしてそこで得た経験を留学後に、将来に、どう生かすのか、先を見据えながら、留学期間中の毎日を過ごすことでこの留学が意味をなすのではないかと思います。</p>